

# ジェイアールバス東北本部

第10号

2022年10月26日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内  
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983  
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

## 申2号「2022年度冬季ダイヤに関する申し入れ」について

JR東労組バス東北本部は、断続的に退職者が出ている影響により要員不足が大変深刻な状況ではありますが、2022年度冬季ダイヤについて、各機関や各職場とともに「安全・健康・ゆとり」をつくり出すことを最優先に掲げて議論をしてきました。特に今年度は、JR陸羽西線の計画的な列車代行に付け加えて、8月の豪雨災害の影響によるJR磐越西線とJR花輪線等の列車代行輸送が現在も行われています。

しかし、深刻な要員不足の影響により長時間の拘束や休日出勤も多く発生し、また事前提案や説明がなく矢継ぎ早に打ち出されるダイヤ施策に対しては、多くの組合員から疑問点や問題点がバス東北本部に寄せられています。

その中で、「安全」を最大の価値基軸として会社施策に向き合い、事故防止の基本となる安全意識を醸成するために各職場において様々な議論を展開しています。しかし、今冬季ダイヤの問題点について各職場で改善できない事案もあることから、下記のとおり申し入れを行いました。

1. 2022年4月1日から2022年9月30日間の乗務員制度及び協約上の問題点を明らかにした上で労働基準法を遵守し、問題が発生している職場については要員を含めた対策を講じること。
2. 2021年度冬季ダイヤ改正における検証事項と内容について明らかにすること。
3. 各職場におけるダイヤの経路等の見直し及び新設については、職場の意見を最大限取り入れること。また、可能な限り事前提案すること。
4. 健康維持と休息时间確保の観点から、各職場において拘束時間が13時間を超えるダイヤについては、最大限出来る範囲内で13時間以内とすること。
5. 福島支店運行の「あぶくま号」について、特に下り便の郡山駅から福島駅東口間の所定運行時分と比較して、実際は慢性的な遅延運行となっていることから所定運行時分を見直すこと。
6. 福島支店運行の仙台～米沢便について、国見SAにおける休憩時間が5分と短いため、お客さまへのサービス上の観点からも現行の5分から10分以上の休憩時分となるよう見直すこと。
7. 現在、減便や運行を休止している各高速路線の運行再開も含めて、今後のダイヤ施策についての考えを明らかにすること。

安全で働きやすい職場環境を目指し各分会から議論をつくり出そう！